

日本の真ん中 東海7都市から素敵なプレゼント

豊橋市



トヨッキー

岐阜市
うーたん



うーたん

四日市市



こにゅうどうくん

田原市



キャベソウ

高山市



さるぼぼ

まるごと
東海
知っとこ
フェスタ

津市



シロモチくん

名古屋市



はち丸

日時:平成29年7月2日(日) 10:00~17:30

会場:まるごとにつぽん(東京都台東区浅草2-6-7)
3階 【Workshop】みんなでたいけん





桂 鷹治 かつら たかじ (第8回 策伝大賞受賞)

本名:高木 陽輔 愛知県岡崎市出身、国立大学法人岐阜大学卒
<芸歴>

- 2012年3月 桂平治2(現文治11)に入門
- 2012年5月 楽屋入り前座名「たか治」
- 2012年6月3日 浅草演芸ホールにて初高座『子ほめ』
- 2016年6月中席 二ツ目昇進「鷹治」となる

2011年2月、岐阜大学落語研究会在籍中に開催された、第8回全日本学生落語選手権「策伝大賞」において、審査員の桂文枝師匠、立川志の輔師匠を唸らせ、会場を大爆笑に導き、当時参加最多の50大学、228人の頂点に立つ。また、地元大学からの優勝は初の快挙であった。現在は桂鷹治として、全国各地の高座に上がり、観客を魅了している。

安楽庵策伝とは ～岐阜生まれの落語の祖～

安楽庵策伝は1554年に現在の岐阜市山県に生まれ、岐阜市三輪の美濃国浄音寺にて出家、その後上洛して修行をし、西国にて布教活動、いくつかのお寺を建立・復興した後、浄音寺の25世住職として再び岐阜の地で過ごされます。そして、京都新京極・誓願寺の55世法主となり、89歳で大往生されました。

策伝和尚は1615年ごろから落語の基となった説話集「醒睡笑(せいすいしょう)」の執筆にかかります。マンダラ説法の達人であった策伝和尚は、字の読めない人たちにも、おもしろおかしく仏の道を教え、最後に“話の落ち”を使うというその手法から、古典落語の祖と呼ばれるようになりました。

岐阜市では、毎年2月に笑いと感動のまちづくりの一環として、学生落語日本一を決める全日本学生落語選手権『策伝大賞』を開催しています。



CONTENTS

- ◆ぎふ長良川メイツによる観光PR with東海地域のご当地キャラクターたち
- ◆まるごと東海知っとこ検定 (参加者には各都市からプレゼントを進呈)
- ◆四日市工場夜景360° VR体験
- ◆東海の味を知っとこ大試食会! ※なくなり次第終了!

- 11:30～ 井村屋のあずきバー(津市)
- 12:30～ 寒天トマト(豊橋市)
- 13:00～ ういろう(名古屋市)
- 14:30～ 飛騨山椒かけバニラアイス(高山市)
- 16:00～ 鮎菓子 (岐阜市)
- 随時 水出しかぶせ茶 (四日市市)



主催 (愛知県) 名古屋市・豊橋市・田原市
(岐阜県) 岐阜市・高山市
(三重県) 四日市市・津市

協賛 井村屋株式会社
JA愛知みなみ
有限会社飛騨山椒
光陽製菓株式会社

お問い合わせ 岐阜市東京事務所 03-5210-2061